

平成 21 年 5 月 15 日 第 181 号

(2009 年)

発行 清瀬市議会
清瀬市議会事務局
清瀬市中里 5-8 4 2
電話 (042) 492-5111(代)
FAX (042) 495-1189
清瀬市ホームページ
http://www.city.kiyose.tokyo.jp/



きよせ市議会だより

平成 21 年度一般会計予算 賛成多数で可決

平成 21 年
第 1 回定例会

平成 21 年第 1 回定例会は、3 月 3 日(火) から 27 日(金) までの 25 日の会期で開きました。

今定例会では、平成 21 年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計予算等の市長提出議案 42 件、委員会提出議案 1 件、議員提出議案(意見書) 6 件、報告 1 件、市民の皆さまから提出された請願 1 件、陳情 6 件を審議しました。

なお、平成 21 年度清瀬市一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、3 月 11 日(水)・3 月 12 日(木)・3 月 13 日(金) の 3 日間で審査しました。また、その他の議案につきましても各常任委員会及び議会運営委員会で審査しました。提出された議案等の審議結果については、6 面に掲載しています。



さくらまつり(台田運動広場)

平成 21 年度予算のあらまし

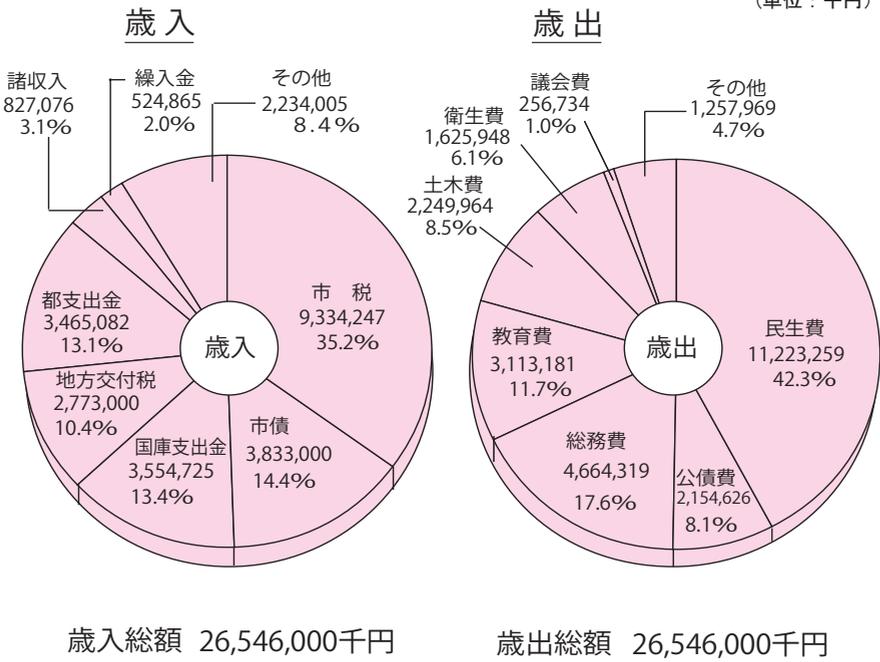
平成 21 年度予算は、世界的不況の中でも、本市では、法人市民税収入が少ないため、景気低迷の影響は少なく市税はわずかな減に留まつたが、利子割交付金などの一般財源が大きく減少し、また地方交付税の増額も見込めないため、臨時財政対策債を含む地方債や基金繰入金で対応するなど、市政は引き続き非常に厳しい状況にあります。

このような状況の中、清瀬市の固有の財産である「水」や「みどり」、「農地」、「医療施設」、「大学」などを市政に活かし、市民の皆さんが「住みたい」、「住み続けたい」と思える個性的な環境のよいまちづくりを推進していくための予算を計上しております。

平成 21 年度一般会計の予算規模は、前年度と比較すると率で 12.6% 増の 26 億 4 千 600 万円となっておりますが、安心して住めるまちを目指す取り組みとして、校舎耐震化、家具転倒防止器具助成、妊婦健診の健診回数の拡充、放課後子ども教室の増設など、人づくりを進める施策として、義務教育就学児医療費助成、保護者負担の軽減を図るための市立幼稚園奨励費や乳幼児医療費助成、学力向上アクションプランなど、活気ある協働のまちの推進として、パイプハウス・鉄骨ハウス整備助成、新・元気を出せ! 商店街事業、融資事業の拡充、旧都立清瀬東高校跡地購入、清瀬市民センター再整備など、みどりの保全・快適住環境都市への取り組みとして、市道 0209 号線道路用地購入、花のあるまちづくり事業などの予算化を図っております。また、特別会計は、全体では前年度と比べて率で 2・9% 増の 15 億 9 千 490 万円となっております。

一般会計歳入歳出予算構成表

(単位: 千円)



反対討論 日本共産党

構造改革路線に加え、世界金融危機の影響から広がる雇用不安は、厳しい暮らしに深刻な影を落としていいます。日本共産党は、負担増の中止や市内業者の支援など求めてきましたが、新年度予算で一定反映されたことは歓迎しています。しかし、くらしの支援策は不十分です。ホームビーター派遣事業、子ども発達支援・交流センター運営開始・清瀬教師塾の開催等は、養育教育環境を充実させています。又この世界同時不況の中、油断なく柔軟にそして大胆かつ繊細に対処した予算でもあります。健康対策介護事業等全てを支持します。

賛成討論 清瀬自民クラブ

21 年度予算は象徴的に表現すれば、清瀬村誕生 20 周年の記念すべき節目の年に、清瀬の現在と未来をしっかりと見据えつつ、21 世紀の市民文化を推進していく「文化の創造」を構想した予算です。一方、将来の清瀬、21 世紀を本格的に担っていくのは今の子ども達です。ホームビーター派遣事業、子ども発達支援・交流センター運営開始・清瀬教師塾の開催等は、養育教育環境を充実させています。又この世界同時不況の中、油断なく柔軟にそして大胆かつ繊細に対処した予算でもあります。健康対策介護事業等全てを支持します。

反対討論 自由民権

立科山荘の経験があります。多額の運営費の削減を求めたところ市長は、「市民の要望だ」「議員みんなが賛成したからだ」と、答弁しています。あの発言ははなはだしくおかしなものです。市民生活は厳しくなっています。財政状況にみあった政策を実施するべきです。

賛成討論 公明党

「台田の杜」のオープンや「ひまわりフェスティバル」の実施、認定農業者の育成や有機・減農薬の野菜作り等地元農産物のブランド化や農商の連携で農業を生かした都市の発展は「まちづくり」の希望であります。旧都立清瀬東高校の整備や公明党が提案させて頂いた、リファイン工法で清瀬市民センターの再整備にも取り組み、小中学校の耐震化を全校に進め環境の問題や妊婦健診の充実等福祉にも、きめ細かい配慮された平成 21 年度一般会計予算 26 億 4 千 600 万円については賛成すべきものと認めます。

賛成討論 風

経済の悪化によつてますます貧富や教育の格差が広がり、格差が次世代へと引き継がれる事態となつていいます。そんな中で就学援助の支給基準緩和や子ども医療費の軽減、子育て支援の充実、事業者への融資拡大、学校の耐震化等は評価するが、東高校購入後の利用目的や管理運営について明確なビジョンが示されておらず、学童保育の運営見直しでは、市民への情報提供が悪く混乱と不信を招いた。大事なことは市政の主権者である市民が決める時代だ。常に説明責任が果たせる情報提供に努め本町の市民協働のまちの実現を求める。

平成 21 年度一般会計予算討論要旨